

# <九州地区>

～学んだことを基に、自分なりの飼い方を実践中～

## 1 農業経営の概要

就農地	鹿児島県
氏名(年齢)	今西 太一(26歳)
営農類型(規模)	肉用牛(繁殖18頭)
農業経営開始時期	平成26年11月
労働力	1名(本人)



## 2 就農までの経歴・就農のきっかけ

- ① 鹿児島県出身(両親は非農家)。祖父が肉用牛繁殖を営み、幼少期から親しむ。高校卒業後、就農に向けた専門的な進路選択と悩むが、周囲の勧めにより東海大学農学部応用動物科学科へ進学。卒業後、熊本のNPO法人阿蘇エコファーマーズセンターで1年間研修。
- ② 大学、研修を経て、“学んだことを基に自分なりの飼い方を実践したい”との強い思いから独立を決意。祖父の畜産経営を手伝いながら就農準備。
- ③ 25歳のときに牛舎を賃借し、繁殖素牛導入等のために青年等就農資金を利用して独立就農。

## 3 営農において工夫している点・資金を利用した効果など

- ① 初期投資軽減と早期経営開始のために牛舎を賃借。経営規模が小さいゆえに、しっかり個体管理することで良い子牛を生産するよう努めている。
- ② 目をかけ、手間をかけ、飼料を十分与えることで母体を作り、健康な子牛を生産。
- ③ 学生時代のアルバイトで学んだ利益確保のための目標管理や計数管理を農業経営に取り入れ、コストを意識した効率的な経営に努めている。
- ④ 資金利用により、経営開始に必要な経営規模をスムーズに確保できた。

## 4 今後の経営展開(抱負)

- ① 現在、家畜人工授精師の資格取得を目指して勉強中。
- ② 2～3年後には50頭規模の牛舎を取得し、徐々に増頭。個人経営としては50頭規模を目指す。
- ③ 将来的には、法人化・大規模化により効率的な経営をしたいと考えている。